

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		百貨店（売場担当）	・夏のセールが始まり客の反応がよい。
		衣料品専門店（経営者）	・客の購入単価は前年比100円程度低いものの、来客数は通常に戻ってきており、来店頻度は元に戻りつつある。
		家電量販店（経営者）	・エコ家電の中で出遅れ気味であったエアコンも好調になってきた。
		乗用車販売店（総務担当）	・受注残の新型ハイブリッド車の在庫台数がやや増加し、それらが売上となって総売上や収益に貢献していくと期待している。
		乗用車販売店（経理担当）	・しばらくは様子見の状況が続くが、エコポイント等税制の影響で消費も伸びているように感じている。
		タクシー運転手	・これから先イベントが多数企画されており、人出が予想される。現状よりは期待できる。
		通信会社（職員）	・エコポイントの影響もあり、地元家電量販店の客足は良好であり、身の回り品店の客足も例年になく早目の出足となつて大変にぎわっていることから、夏の商戦をはさんでやや良くなるものと期待している。
		通信会社（社員）	・データ通信、音声通話などの新しいサービスを開始するため期待が持てる。
	通信会社（役員）	・デジタルテレビの売行き好調と合わせ、総務省地デジ支援センターを中心とする地デジ説明会が各地域で開催されていることもあり、地上デジタル放送への関心も急速に高まっている。この効果もあり、デジタル契約に対する新規加入及び移行も引き続き堅調に推移すると期待できる。	
	通信会社（営業担当）	・携帯電話に新商品が出揃い、端末価格の値下げも見込まれるため売上増加が見込まれる。	
	競輪場（職員）	・入場者数や売上が上昇傾向にあるので期待したい。	
	変わらない	商店街（代表者）	・地方ではまだまだゆとりがなく、この夏のボーナスも減額という企業が多い。従来のような消費パターンに戻るのはまだ先である。
		一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	・従来と変わらず見込みがでてこない。客に提案しても、話だけは聞いてもらえるが、予算化されることはない。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・購買意欲を高める政策なども乏しく、現状より良くなるとは考えづらい。
		百貨店（営業担当）	・夏物のバーゲンが始まるが、例年見られる下見に来店する客は少ない。また、客からは底値で買いたい姿勢が見えており、夏のバーゲンは楽観視できない。単価が低下するのは確実である。
		スーパー（店長）	・総選挙でどう変化するか分からないが、賞与も減少している中、良くなる可能性がない。
		スーパー（店長）	・先が読めないのが実情である。収入上昇の期待が薄れており、お盆需要等夏季需要は厳しいと予想している。
		スーパー（店長）	・消費者は、相変わらず必要なものしか買わない姿勢は崩しておらず、また、周辺の競合店を含めて、低単価商材を目玉にしたチラシを出しており、その店舗にまず足を向ける傾向は今後も続く。
スーパー（店長）		・経済の不透明感を解決させる要素がなく、価格に対して敏感な消費者の意識が変わるような景気回復策も見当たらない。他店との競争環境も激しくなり、商圈も狭くなっている。	
衣料品専門店（経営者）		・夏の賞与の大幅な減額が報道されており、現状からの好転は考えにくい。	
衣料品専門店（総括）		・最近の様子をみると良くなるともこれ以上悪化するとも判断がつかない。	
家電量販店（店長）	・これといった起爆剤が見えてこない。		
乗用車販売店（経営者）	・売れる車種が限定的になっており、全体が押し上がらない限り展望が無い。		
自動車備品販売店（従業員）	・引き続き高速道路料金引下げに関連してETC需要は続いているが、その他のプラス要素が無く回復に至らない。		
住関連専門店（店長）	・今の悪い状況が良くなるとは思えない。その兆しがあるような面で見えてこない状況である。		
その他専門店〔酒〕（経営者）	・景気が上向きに転じたと言われるが、身の回りではその兆しさえ見えない。少しでも売上が伸びてくれることを期待しているが、そのめどはついていない。		

	その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	・価格競争が激しくデフレ傾向にあり、来店客の購買量が上がったとしても金額ベースでは変わらない。
	高級レストラン（スタッフ）	・地方都市では、とても景気回復の兆しは見えない。明るい材料がない。
	一般レストラン（スタッフ）	・ボーナス時期には、エコポイントや環境対応車普及促進税制等で消費が大型のものに流れるが、ガソリンが高くなりつつあり、食費・衣服費等の節約ムードは変わらず、外食控えは続く予測される。
	スナック（経営者）	・仕事が例年の5割とか、余剰人員の問題を耳にすると、悪い状態がこのまま続く気配を感じる。
	観光型旅館（経営者）	・7月および8月の前半は例年並みの予約があるが、8月後半の予約がまだまだ少ない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・夏季賞与抑制の影響が、利用客の低迷や暑気払い等の宴会受注低迷につながりそうな気配があり、例年の夏場の低迷が更に大きくなりそうである。
	旅行代理店（従業員）	・家計が安定せずレジャーへの消費に消極的な状況は、今後もしばらく継続する様子である。時代の雰囲気や若年層と熟年層のトレンドが変化させてくれることを期待している。
	タクシー運転手	・夏休みに入って観光客は高速道路料金引き下げの影響で、マイカーを利用する機会が多く、タクシーの売上は上がらない。
	その他レジャー施設（職員）	・新規会員の入会動向は安定化の傾向にあるものの、地元企業の業況が厳しい状況にあることから判断して、早急な回復は望めない。
	美容室（経営者）	・夏のボーナスが厳しいという客の声をよく耳にする。
	住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン控除拡大など税制面で客の動きを活性化しようとしているが、効果が出ていない。
	住宅販売会社（従業員）	・例年、夏場の客の動きは少ないが、今年に限っては現在までが例年と違うため、客の動きに変化がないと予想される。
	住宅販売会社（従業員）	・最悪の状況は脱却したと思われるが、個人消費はまだまだ冷え込んでおり厳しいままである。企業の業績とともに個人消費が改善されなければ景気の改善は無い。
やや悪くなる	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・お中元や夏休みなどで個人消費の伸びを期待するが、夏の賞与の減額などで見込みは薄い。お中元を手控える個人や企業が增加している。
	百貨店（売場主任）	・政局の不安定さがまだ続き、市場に対する政策がまだはっきりと打ち出されていない。
	百貨店（営業担当）	・来客数が戻らないまま夏物のクリアランスセール時期に突入する。売上の低迷によりセールの立上り日の前倒しを実施するショップが多いものの、客の買物姿勢は慎重であり変化はない。ジャストシーズン商品がでる1～2か月先でも買物姿勢は慎重であろう。
	スーパー（店長）	・官公庁や民間の夏季賞与が前年比10%以上減少という中では、財布のひもはますます固くなり、消費マインドは厳しい状況が続く。
	スーパー（総務担当）	・民間の夏季ボーナス支給金額は昨年を下回ることが明らかのため、7～8月の消費は伸びない。
	スーパー（営業担当）	・ガソリン価格の上昇もみられ、ボーナス商戦も生活防衛のため買い控えが予想される。
	コンビニ（経営者）	・来客数の減少、客単価の大幅な低下が続いている中で、今後低価格商品の投入を予定しており、客単価はさらに低下する。
	コンビニ（経営者）	・タスポ導入後1年が経過し、前年の反動でタスポ効果分が今後厳しくなる。
	観光型旅館（スタッフ）	・予約も改善の兆しはない。6、7月の予約状況を前年と比較すると、日が経過しても縮小していない。8月から10月は差が大きくなっている。価格が本館よりリーズナブルな姉妹館は7月、9月～11月は前年を上回っている。
	都市型ホテル（スタッフ）	・予約は全部門において弱含んでいる。
	住宅販売会社（従業員）	・見込先の発掘が減少しているなか、安心安全の要求は強く、交渉の長期化が目立ってきた。成約までの時間が長くなり、受注減と完工高のずれ込みにつながる。
悪くなる	コンビニ（店長）	・同一商圏内に大手コンビニチェーン店が2店進出し、3店舗で小さなバイを奪い合う状況になり厳しい状況が続く。
	旅行代理店（従業員）	・新型インフルエンザのオーストラリアでの流行を注視している。今の状況から見て改善は期待できない。

		テーマパーク（職員）	・現状の景気状況からは、企業や一般団体、海外客の回復は望めず、先行き予約も前年比かなり厳しい状況である。個人客は、旅行会社の話では前年比7割程度で推移しているとしており、全体としてさらに厳しい状況が続く。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-	
	やや良くなる	化学工業（総務担当） 電気機械器具製造業（経理担当）	・発注先の状況から、この先も受注量の増加が見込める。 ・消費者の消費マインドしだいであるが、新製品が動き出すと製造業は活発になる。少しずつ動き出している。	
	変わらない	繊維工業（経営者）	・先行きの見通しが難しいため、更なる景気悪化や低迷の長期化に備えて消費者の購買心理は慎重である。	
		プラスチック製品製造業（企画担当） 金属製品製造業（経営者）	・住宅着工件数が増加するのは6か月以上先くらいからであり、3か月では到底増えない。 ・2～3か月先の受注量に変化はない。	
		一般機械器具製造業（経理担当）	・一部、新興国向けについては持ち直しの感があるが、全体的には、まだまだ先行きが不透明である。	
		一般機械器具製造業（総務担当）	・取引先の状況として既存の設備が動き出したところであり、新規設備の動きはその先となる。	
		精密機械器具製造業（経営者）	・一時期ほどの受注減少傾向は少なくなってきたものの、まだまだ上昇機運は全く感じられない。	
		建設業（経営者）	・大型補正予算での公共事業の執行が始まると全体的に忙しくなる。緊急保証制度を利用して春を乗り切ったものと思うほど受注できなかった建設業者は、夏枯れで資金繰りが苦しくなり、倒産にいたるケースが多発する。	
		輸送業（配車担当）	・今後、政情の不安定な状態が続く中で、消費者も買い控え等が進展し、取引先の在庫、物量の増加は見込めない。	
		金融業（融資担当）	・企業現場では、数量の回復が認められるが、価格の回復が遅く収益に結びついていない。家計では、雇用不安がぬぐい去れないこととガソリン価格が上昇傾向に転じ消費マインドが再び低下する懸念がある。	
		不動産業（経営者）	・法人・個人とも不動産取引に対する期待感があつたが、増加の見込みがもてない。	
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・7月は新店のオープンなど一時的な良い材料があるが、折込全体の底上げは各地の状況を聞くとうりでもない。	
	やや悪くなる	食料品製造業（企画担当） 繊維工業（経営者） 司法書士 税理士（所長）	・商品価格の値下げ要求とともに実勢価格の下降が進んでいる。また、受注量についても落ち込んでおり、一層の厳しさが予想される。 ・季節的な要因もあるが、消費の低迷・低価格化で受注の先行きが全く不透明になっている。また、期近な注文に加え、受注単価も厳しくなっている。 ・緊急制度融資を受けた会社から、融資は助かったが返済ができるのか不安という声をよく聞く。 ・取引先の経営者によれば、受注の見通しが不透明であり、またデフレ傾向もあるため価格を上げることもできないという。先行きが読めない不安な状況にある。	
	悪くなる	建設業（総務担当）	・設備投資はやや回復傾向にあるが、工事量の減少で受注価格競争がエスカレートし、依然として厳しさが続く。	
	雇用 関連	良くなる	-	-
		やや良くなる	職業安定所（職員）	・大企業の中には在庫調整等が進み、底入れ感がみられている。
変わらない		人材派遣会社（社員）	・今後一層悪化することはないにしても、向こう数か月は依然厳しい状況が続く。	
		求人情報誌製作会社（編集者） 新聞社〔求人広告〕（担当者）	・よほど景気が良からならない限り、求人する会社は増えてこない。 ・基幹産業である機械・電子機器・建材などの製造業に回復の兆しがないため良くて横ばいである。新卒採用者が自宅待機という企業もある。	
		職業安定所（職員）	・中小企業等からの雇用調整助成金の相談が相変わらず多い。	
		民間職業紹介機関（経営者）	・減益決算、生産減あるいは休業をしている状況では、多くの企業で雇用は最も慎重な分野である。	
やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・派遣社員の利用申込どころではなく、まだまだ人件費削減に伴う人員整理が続きそうある。		
悪くなる	-	-		